

# 1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	芸術科	科目	絵画	単位	3単位	単位
対象コース	美術コース	コース	対象クラス	2年	6組	
使用教科書	高校生の美術2 (日本文教出版)					
使用副教材						

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

- ①画材、素材に対する追究  
(油彩、アクリル絵具、透明水彩等、各画材の組成と特性を知り、基本的な表現技法を学ぶ)
- ②色彩、パルールの追究 (デッサンで実習した表現を色彩に置き換えた制作)
- ③空間表現の追究
- ④絵画による自己表現の追究

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

「校外スケッチ実習」1年次の経験を生かして更に完成度の高い作品を目指す。  
 「静物油彩・着色」床面、モチーフ同士の関係の理解。質感の描写。マチエールの研究。背景も含む画面構成。空間表現。  
 「油彩自由制作」作品を作り上げる制作過程を学ぶ。(テーマの設定、取材、エスキース)自己表現としての絵画の追求。  
 ■後期からデザイン系と絵画系(油彩、彫刻、日本画等)に分かれ、より専門性の高い課題を実習する。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

- (1) 学校  
主に授業時間内で実習し、放課後用、課外時間も有効に使って学習する。  
スケッチは美術コースの行事、「校外スケッチ実習」で2日間、野外に出かけて制作する。
- (2) 家庭  
無し

# 3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何をを使って評価するのか

完成した作品によって評価する。  
 技術的、創造的に優れた作品を評価するほか、完成するまでの過程、取り組みの姿勢を見る。各自の力量に合わせた努力度、熱心さ等を加味し、平常点として評価に加える。

評価における定期考査の割合

0 %

# 4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

- (1) 関心・意欲・態度  
課題に取り組む意欲、態度
- (2) 思考・判断  
画面全体を構成する総合判断力、イメージを作る創造力
- (3) 技能・表現  
構成力、色彩感覚、表現力、描写力
- (4) 知識・理解  
透明水彩、油彩、アクリル絵具等、画材知識の理解度

## 5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	5	<b>■「校外スケッチ実習」</b>   	<b>■「校外スケッチ実習」</b> (コース行事約8時間) F 8 画用紙パネル水張り、透明水彩 2日間で風景画を制作する パースペクティブの理解 透明水彩によるスケッチ技法の習得	●	●	●	●	
2	10	<b>■「静物 油彩」</b>  	<b>■「静物 油彩」</b> (30時間) セットモチーフ5セット (1セット8～9人・囲んで描く) F 15キャンバス・アクリルと油彩を併用 下地を生かした描写を行う * 凹地作りのポイント ・細かい形にとらわれすぎず大きく描く ・空間を意識する ・窓に塗る固有色を生かすための色を置く ・積極的にマチエールを作ってみる ・凹地で絵になっている感じをつかむ 積極的に絵具で描写し量感を出す	●	●	●	●	
		<b>■専攻別課題</b> <b>進級制作「油彩自由制作」</b> 	<b>■専攻別課題</b> <b>進級制作「油彩自由制作」</b> (67時間) F 30～50キャンバスに油彩 観察をもとにした描写的表現を基本とした自由制作  自由制作の制作過程を学ぶ スケッチ、資料の収集 エスキース 本描き 自己表現としての絵画作品の制作	●	●	●	●	



【SDGsの各ターゲットについて】

ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】

高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は  
アイコンをクリック



※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に  
コピーしてご使用下さい

### SDGsターゲットアイコン



### 道徳教育アイコン



下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に  
コピーして下さい

### SDGsターゲットアイコン



### 道徳教育アイコン